

# 名経大とつくる

# 地域のげんき!

[特集]

突撃! 地域のげんき!

地域とともに学ぼう!

●犬山観光学生大使

●観光行動アンケート発表会

地域の未来を応援!

●市民と語る会

●子どもの読書推進事業

●採用力強化のためのパラダイムシフト!

## 犬山学研究センター

●第10回犬山学サロン



# 突撃! 地域のげんき! ~みなさんの手元に届くまで~

名古屋経済大学地域連携センターNEWSとして発行している「地域のげんき!」第13号は、初めて体験型プロジェクトの受講生がページデザインなどの編集作業を担当しました。

## ~地域のげんき!~ができるまで~

- ・2020(令和2)年5月12日 オンライン授業スタート  
☆ガイダンス、自己紹介
- ・5月19日 **地域のげんき!** について考える  
☆既刊号の良い点と改善点を話し合う  
◎課題: 犬山のイメージをまとめる
- ・5月26日 (株)中広の「地域みっちゃく生活情報誌」について考える  
☆地域情報誌の特集について話し合う  
◎課題: 地元の情報誌の特徴についてまとめる
- ・6月2日 地元の情報誌の特徴について発表する  
◎課題: 地域情報誌の編集作業についての質問を考える
- ・6月9日 ビジネスメールの書き方を学ぶ  
☆地域情報誌の編集担当者にメールでヒアリング  
◎課題: 過去記事を使ってオリジナルページをデザイン
- ・6月16日 オリジナルページデザイン発表コンペ  
☆金山くんデザインが最優秀に決定!!  
☆第13号の担当ページの割り振り  
☆第13号のページデザイン開始
- ・6月30日 **地域のげんき!** 第13号 デザイン完成

その後、印刷業者と校正作業を重ね、**完成!**



地域連携センター 事務局

「地域のげんき!」第13号は、オンライン授業という難しい環境の中で、入学直後の6名がコミュニケーションをとりながら制作してくれました。本紙の既刊号についても意見を聞く事ができ、今後の参考にもなりました。「地域のげんき!」と一緒に編集する事ができ、とても嬉しく思います。

## 「体験型プロジェクト」とは?

体験型プロジェクトは主に1年生が履修する名古屋経済大学の授業です。見に行こう!聞きに行こう!やってみよう!をテーマに全ての学部の学生が、現場でさまざまな体験を通じて学びます。「東海の鉄道を知る」「日本の農業を体験から考えよう」「犬山の観光戦略を考える」など、20プロジェクト以上を毎年開講しています。

## ◆オンライン授業の様子◆



## 感想を聞きました

オンライン授業を通じて対面で進めていく事がどれだけ受けやすく、ありがたい事かと感じ、コミュニケーションの重要性を改めて感じました。記事作りでは沢山の情報や労力が必要だと感じ、とても大変だと身を以て感じました。



法学部1年  
落合香乃

普段とは全く違う環境だったので初めは不安でしたが、慣れていくととても楽しかったです。どうしたら皆さんに見やすいようにできるか考えるのが難しく大変でした。また、ビジネスメールを送る際の作法なども学ぶ事ができました。



法学部1年  
湯下大夢

オンライン授業に最初は慣れず、やりづらさを感じましたが、慣れるとクラスメイトと考えを共有しやすい手段と感じました。また、読みやすいページを作る事は難しいと感じました。そして、「地域のげんき!」を作る際は自分達らしいものを作るように心がけました。



経営学部1年  
梶田初奈

わからない事も時々ありましたが、楽しく受講できました。オンライン授業は斬新で、色々な事を知れ、不自由なくできよかったです。また、将来役立つ礼儀や常識も学べ、良い経験になりました。



法学部1年  
蔵原光明

初めてのオンライン授業でしたが、みんなに優しく対応してもらえ、授業を受けて良かったと思います。ページレイアウトをやってみて、見やすく読みやすい記事を作る大変さを感じたが、貴重な経験となったので、今後に活かして行きたいと思います。



経済学部1年  
鷲尾祐太

初めてのオンライン授業でとても戸惑いましたが、会話が出来る授業だったので、授業を受けている感じがしました。慣れないパソコンでの編集作業や読みやすく、見やすい記事を作るのは大変でしたが、貴重な経験になり、勉強にもなり良かったです。



経済学部1年  
金山航大

オンラインでの体験型クラスという困難の中、試行錯誤しながら「地域のげんき!」第13号の編集に取り組んでくれました。本号はこれまでとは異なるセンターニュースに仕上がったと思います。今後は、地域と積極的に関わってもらい、豊かな社会性を育ててもらえたらと期待しています。



経済学部教員  
村山徹

オンライン授業となり、活発な意見交換がやや難しい状況になったのは残念でしたが、その中でも学生がアイデアを出し合った結果、とても良い仕上がりになりました。学生の皆さんには言葉で自分の考えを伝えることを今後の学生生活でも活かし、活躍して欲しいです。



経済学部教員  
加藤秋人

# 犬山観光学生大使

～任命式から始動～

2013年にスタートした連携事業です。犬山市観光協会から任命された学生大使は、接遇や現地での研修を通じ、大使としての心得を学びながら犬山愛を深めます。例年は4月の犬山祭から活動がスタートしますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、各種イベントの中止が相次ぎ、デビューができぬまま…。活動再開後の活躍にご期待ください。



現地研修では、犬山城の石垣についても学びました。



2020(令和2)年2月7日(金)  
リトルワールド

犬山市観光協会  
×名経大

コラボ

任命式では改めてたくさんの人に支えられてできる活動なんだということを実感しました。コロナが終息したら、犬山をよく知らない方にも足を運んでもらえるきっかけづくりが出来る活動がしたいです。

経営学部2年 ● 甲斐 愛也佳



コロナ禍を境として、観光の在り方も変わるかもしれません。どのようなかたちとなっても犬山市の魅力を多くの人に伝える役割に変わりはありません。精一杯使命を果たしていきたいです。

人間生活科学部 教育保育学科4年 ● 石田 和加奈

# 観光行動アンケート 発表会

2019年11月、3日間にわたる92名の学生によるアンケートの結果を、経済学部ゼミナールで分析し、ポスター制作に取り組みました。犬山キャストでの発表会では現4年生6名が参加し、展示スペースに訪れた人たちに約半年間にわたる調査内容について説明しました。



2020(令和2)年2月10日(月)～2月14日(金)  
犬山キャスト地下1階

犬山しろひがし商業協同組合  
×名経大

コラボ



InstagramなどのSNSの情報を見て観光に訪れる方が多くいたと思いました。今後はSNSを使った情報発信が非常に重要になると思います。

経済学部4年 ● 河合 峻平

アンケート調査は楽しく、犬山に来る人たちの興味や、犬山で何が流行っているかなど、自分の住んでいる町の実態を知ることができました。知らない人たちとお話するのも良い経験になったと思います。

経済学部4年 ● 有田 桜

万人受けする観光スポットをプロデュースするのは難しいので、情報発信等でターゲットを絞る事が重要だと思います。また、リトルワールドが展開するようなインパクトあるキャッチコピーで、他の観光地との差別化も必要と感じました。

経済学部4年 ● 渡辺 歎太

## 市民と語る会

～若者の政治への関心～

犬山市議会×名経大

2020(令和2)年1月25日(土)  
犬山市南部公民館

コラボ

若者が政治に関心を持つためには、市民が政治にもっと積極的に参加することと、議会側も興味を持ってもらえるように工夫することが必要だとわかりました。私は、若い有権者が投票しやすいようにスマホを活用したシステムを提案しました。早く若者が気軽に投票できる環境を作ってほしいです。

法学部4年 ● 今井 智恵



犬山市議会では市民のみなさんから意見を聞く機会を設けています。今回、名古屋経済大学の学生と市内の高校生にパネリストとして参加してもらいました。今井さんと玉城さんには、政治参加をテーマに、ご自身の体験を語っていただきました。政治は参加しなければ何も変わりません。学生二人の話から、市民の皆さんにも政治に関心を持ってもらえたらと思います。これからも身近な犬山市議会でありたいと思っています。

犬山市議会「市民と語る会」実行委員長 ● 大沢 秀教 さん

最初の発言では緊張しましたが、時間がたつにつれ緊張がほぐれ、自分の言いたいことが言えたと思います。参加して、自分たちが思っていることや考えていることをしっかりと口にしてアピールすることの大切さを学びました。

法学部2年 ● 玉城 龍一

## 子どもの読書推進事業

～大口町図書館まつり～

2020(令和2)年2月1日(土)  
大口町中央公民館

コラボ

大口町×名経大

2018年から、子どもたちが喜ぶイベントにと本学学生が企画から担当しています。今回は児童文化サークル「いろは」11名を中心に『はらぺこあおむし』を暗闇に映し出して読み聞かせをしました。フィナーレでは「パプリカ」の曲に合わせて歌って踊り、舞台に多くの子どもたちが集まりました。



舞台裏



Q 子どもたちに本に興味を持ってもらうために、どのような工夫をしましたか?

A 3年間イベントに参加しました。今までの授業や実習で学んだことを活かして、大型絵本を読んだり、ペープサートをしたりと、目玉となる企画を考えました。また、座って物語を楽しむだけでなく参加型の踊りも取り入れることで、長時間でも子どもたちが楽しめるよう工夫しました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 ● 小島 和紗

別名：ウチワ型  
紙人形劇

Q 感想を聞かせてください。

A 過去の経験から、子どもたちの集中力が長く続くような企画を考えました。手遊びをする時は、スピードを速くしたり遅くして、反応をみながら臨機応変に対応ができたのはよかったです。どのようにしたら楽しんでもらえるか、と企画を考えるのは大変で不安が大きかったですが、当日舞台から子どもたちの笑顔を見てやりがいを感じました。大学生活の良い思い出となりました。

人間生活科学部 教育保育学科4年 ● 酒井 菜々美



# 地域の未来を応援！

## 採用力強化のための パラダイムシフト！

地元企業を対象に、『大学から見た就職の現状と今後の予測—大学への求人について—』をテーマに、学生の採用を進めるうえでのポイントや、東海地区の学生の傾向について本学キャリアセンター長大黒光一が講演を行いました。



2019(令和元)年12月2日(月)  
犬山商工会議所

コラボ

犬山商工会議所 × 名経大



### 採用力向上セミナー

2019(令和元)年6月25日(火)  
一宮商工会議所



留学生の  
就職体験談

本学留学生4年生2名と卒業生1名が「外国人材の活用について」で自身の体験を語りました。

### 進路選択応援セミナー

2019(令和元)年8月26日(月)  
岡崎商工会議所



高校生  
中学生の  
保護者対象

就職や進学に関する最新動向について、子どもの将来設計をサポートするポイントをお話ししました。

そのほか、近隣の商工会議所などでも開催しています。

## 犬山学研究センター

第10回

## 犬山学サロン

～犬山の材木商神戸家のネットワーク～

日本経済史・近世尾張経済史が専門の林先生は『尾張藩水上交通史の研究』を刊行されるとともに、『犬山市史』や『名古屋市史』の編纂に尽力され、本学が犬山学研究センターを設立する際にもアドバイスをくださいました。そのように本センターと縁の深い林先生に、1596(文禄5)年より湊取締役として活躍していた神戸家についてご講演いただきました。

江戸時代の犬山は、木曾山・飛騨山からの材木筏の中継地として栄えていました。この材木が名古屋から江戸などに運ばれ様々な建築に活用されたのです。材木の伐採から運輸、販売まで手がけ成長した犬山神戸家が、時代に翻弄されながら生き残りを目指す姿に、受講者も感銘を受けていました。

2020(令和2)年1月7日(火)  
名古屋経済大学

受講者の声

- ・ 商人が一生懸命生きようとしていた姿に感動しました。
- ・ 神戸家が江戸後期に多角経営になっていく姿がよくわかった。



講師は  
南山大学経済学部教授  
林川貞子氏



学校法人 市邨学園

名古屋経済大学

●お問い合わせ先

地域連携センター TEL0568-68-3282

FAX 0568-67-0724 MAIL chiiki-c@nagoya-ku.ac.jp

〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL0568-67-0511(代表)